

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者: 富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成29年11月10日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2017年44週(10月30日～11月05日)

○ 山梨県内流行情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病で警報レベルとなっていた中北保健所峡北支所管内及び富士・東部保健所管内の報告数が減少しており、解除となりました。

百日咳の報告数は、峡東保健所管内で第42週から急増し、引き続き警報レベルとなっています。

百日咳については、乳児期のワクチン接種が有効ですが、ワクチン種歴のある子供や大人が感染すると症状が軽く、百日咳の判断が難しく、感染源となる可能性があります。咳を主症状とする方は医療機関を受診することをお勧めします。

インフルエンザを含むこれらの感染予防には手洗い、マスクをすることに心掛け、感染予防に努めましょう。

【今週の警報】: 百日咳(峡東保健所管内)

【今週の注意報】: なし

○ 富士・東部管内流行情報

手足口病の警報が解除されました。

管外ではインフルエンザの報告も出始めています。インフルエンザワクチンの効果は、接種した(13歳未満の場合は2回接種した)2週間後から5ヵ月程度までと言われています。例年12月頃には流行期に入るため、その前にワクチンを接種しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2407	0.49	3033	0.96	1621	0.51	5940	1.88	10937	3.47	1469	0.47
山梨県	3	0.07	19	0.79	8	0.33	45	1.88	56	2.33	6	0.25
中北	1	0.07	11	1.38	1	0.13	12	1.5	26	3.25	3	0.38
中北峡北	1	0.13	6	1.2	4	0.8	17	3.4	4	0.8	-	-
峡東	1	0.14	-	-	1	0.25	10	2.5	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
富士・東部	-	-	2	0.4	2	0.4	6	1.2	21	4.2	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5126	1.62	173	0.05	1259	0.4	50	0.02	967	0.31	899	0.28
山梨県	35	1.46	-	-	4	0.17	22	0.92	-	-	7	0.29
中北	14	1.75	-	-	-	-	1	0.13	-	-	3	0.38
中北峡北	6	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.4
峡東	12	3	-	-	2	0.5	21	5.25	-	-	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	3	0.6	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	484	0.7	9	0.02	11	0.02	185	0.39	5	0.01
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	2	1	-	-	-	-	1	0.5	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	44週		43週		42週		41週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.07	3	0.07	3	0.02	1	0.02	1
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.79	19	1.29	31	1.5	36	0.67	16
咽頭結膜熱	横ばいです	平年よりやや多い発生数です	0.33	8	0.25	6	0.29	7	0.38	9
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年よりやや多い発生数です	1.88	45	3.42	82	2.67	64	1.71	41
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.33	56	3.79	91	3.08	74	2.29	55
水痘	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.13	3	0.13	3	0.04	1
手足口病	横ばいです	平年よりやや多い発生数です	1.46	35	2	48	1.92	46	1.71	41
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.13	3	0.29	7	0.13	3
百日咳	増加しています	平年より多い発生数です	0.92	22	0.63	15	0.29	7	0.04	1
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.21	5	0.54	13	0.38	9
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.33	3	0.44	4	0.33	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.1	1	0.1	1	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	横ばいです	平年並みです	0.3	3	0.2	2	-	-	0.1	1
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	74
二類感染症	結核	中北	女	86
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	65